

平成25年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	アスパラガス伏せ込み促成栽培に適した品種「ウィンデル」の特性		
[要約] アスパラガス品種「ウィンデル」は、「ウェルカム」よりも年内収量が高く、太物生産が可能な、伏せ込み促成栽培に適した品種である。					
キーワード	新品種	アスパラガス	早期出荷	技術部野菜花き研究室	

1 背景とねらい

アスパラガス伏せ込み促成栽培は、冬季の高収益品目として、県内で栽培が行われている。本作型で高い収量を得るためには、休眠が浅く早期に大株養成が可能な特性を有した品種が必要であるため、品種「ウェルカム」が主に利用されてきた。品種「ウィンデル」は、高収量が期待できる伏せ込み専用新品種であることから、岩手県における伏せ込み促成栽培適性を明らかにすることを目的とした。

2 成果の内容

- (1) 品種「ウィンデル」（パイオニアエコサイエンス（株））の株養成期間中の生育は、品種「ウェルカム」と同等である（表1）。
- (2) 掘り取り時の根株重は「ウィンデル」が優れているが、貯蔵根 Brix 糖度は「ウィンデル」がやや低い（表2）。
- (3) 伏せ込み後の収穫開始時期は、品種による差は見られない（表2、図1）。
- (4) 高単価が期待できる年内収量は「ウィンデル」が高い傾向にあり（図2）、総収量も高い傾向にある（表2）。
- (5) 「ウィンデル」は、「ウェルカム」よりも1茎重が重く、「スーパーウェルカム」や「太宝早生」と同程度の太物生産が可能である（表2）。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 「ウィンデル」は、「ウェルカム」よりも休眠が浅いと考えられているが、詳細な休眠特性は明らかになっていない。そのため、当面は「ウェルカム」に準じて掘り取り時期を決定する。
- (2) 「ウィンデル」は、生育が旺盛で茎数も多いことから、生育後期まで病害虫防除に留意する。
- (3) 「ウィンデル」は、地下茎および貯蔵根が柔らかいため、掘り取り時には、株の分割や断根がないよう留意する。
- (4) 粘土質が強い水田転換畑のような土壌には、本品種は適していない。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

県内全域、アスパラガス伏せ込み促成栽培生産者。普及見込み面積 30ha。

(2) 期待する活用効果

アスパラガス伏せ込み促成栽培の高収・安定生産が期待される。

5 当該事項に係る試験研究課題

(H24-04) 岩手型アスパラガス伏せ込み促成栽培安定生産技術の確立（県単）

6 研究担当者

山口貴之

7 参考資料・文献

- (1) 「アスパラガス数品種の岩手県における年内どり伏せ込み促成栽培適性」、岩手県農業研究センター平成20年度試験研究成果
- (2) 「北海道オホーツク地域のグリーンアスパラガス伏せ込み促成栽培における10月掘り1年生株の若茎収量」、地子立、午来博、門傳千香子、荒木肇、園学研 11(4):491-495(2012)
- (3) 「アスパラガス1年養成株を用いたトンネル内伏せ込み促成栽培試験と生育・収量の雌雄間差」、浦上敦子・元木悟・山口貴之・松永邦則・國久美由紀・植野玲一郎・山崎篤・芳賀紀之・常盤秀夫・山田文典・酒井浩晃・瀧澤民雄・池内隆夫・渡辺慎一・新里仁克・遠山智之・鈴木卓・小泉丈晴・北澤裕明、園学研 10 別 2:212(2011)

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 株養成期間中における生育量の品種間差（H24）

品種名	定植時			8月3日			9月11日		
	主茎長 (cm)	茎数 (本)	最大茎径 (mm)	主茎長 (cm)	茎数 (本)	最大茎径 (mm)	主茎長 (cm)	茎数 (本)	最大茎径 (mm)
ウィンデル	35	3.5	0.8	104	18.3	5.8	162	30.6	10.0
ウェルカム	39	3.8	0.8	86	17.6	4.3	163	24.8	8.1

1区5株2連での結果。

表2 根株重、貯蔵根 Brix 糖度および収量の品種間差（H23, H24）

品種名	調査年	根株重 (g)	貯蔵根Brix糖度 (%)	養成分 (根株重×糖度)	収穫開始日	年内商品茎収量 (g/株)	総商品茎収量 (g/株)	10aあたり収量 (kg)	1茎重 ² (g)
ウィンデル	H24	1,723	16.6	28.6	12月18日	191.8	329.6	593	18.8 ^a
ウェルカム (対照)		1,502	19.0	28.5	12月18日	155.6	262.4	472	16.9 ^b
太宝早生 (参考)		1,654	18.6	30.8	12月18日	130.4	232.6	419	17.9 ^{ab}
スーパーウェルカム (参考)		1,402	15.4	21.6	12月18日	116.3	228.7	412	18.6 ^{ab}
ウィンデル	H23	1,455	13.9	20.3	12月14日	160.6	240.9	434	15.9
ウェルカム (対照)		1,297	21.7	28.1	12月14日	117.1	175.6	316	13.4

1区10株3連での結果。5g以上の開きや曲がりがない若茎を商品茎収量とした。

10aあたり収量は1,800株/10aとして算出。

²同一のアルファベット間は Tukey-Kramer の HSD 検定により 5%水準で有意差がない。

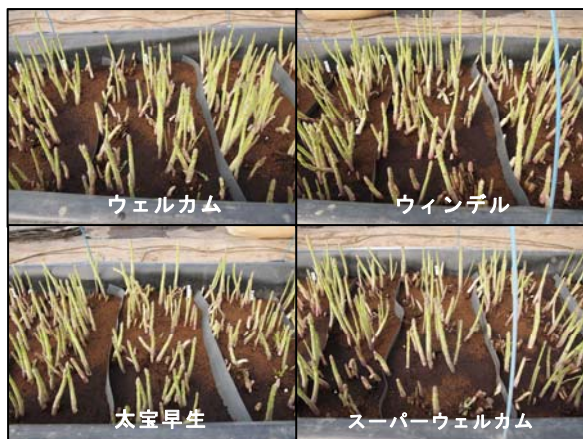


図1 収穫開始日の伏せ込み床の様子
(平成24年12月18日)

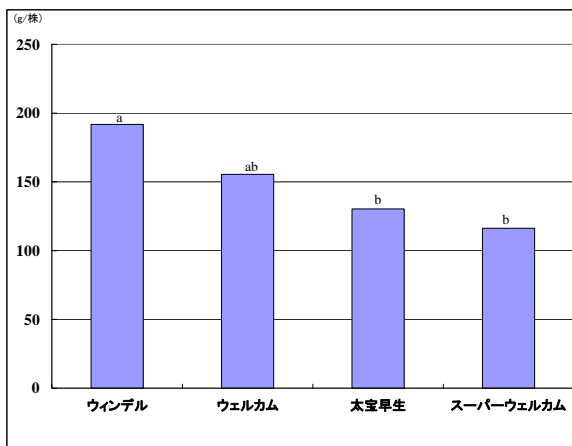


図2 年内商品茎収量の品種間差（H24）

同一のアルファベット間は Tukey-Kramer の HSD 検定により 5%水準で有意差がない。

耕種概要

播種日:平成23年2月5日、平成24年2月6日

定植日:平成23年4月26日、平成24年4月27日

栽植様式:畦幅140cm、株間40cm

施肥量(kg/10a):窒素25、リン酸25、カリ25

掘り取り日:平成23年11月29日(5℃以下積算187時間、8℃以下積算371時間)

平成24年11月28日(5℃以下積算217時間、8℃以下積算394時間)

伏せ込み温度:16℃設定(伏せ込み直後から加温)